

すべての情報を市民に！

納得できる未来は情報の徹底公開から

地方政治に政党はいらない

議員特権を廃止しよう

議員の仕事は第一番に行政監視。特権を与えられ、特権意識に浸っていたらその役目は果たせない。実利（二重報酬）と榮誉（永年勤続表彰）を与える制度の撤廃を追求しています。

おだてられて、木の上に登った議員に厳しいチェックはできない！

政策の選択を市民の手に

税金は納得できるところに使いたいもの。おねだりやバラマキを使っても市民生活の役には立たない。見栄や羨望にとらわれた行政や、支持者だけしか見ない議員に任せっぱなしにするのはやめよう。

お任せ政治で決めたことも、結果を担うのは市民！
市民が監視すれば行政の施策は改まる。

情報公開の徹底

西東京市の情報はすべて、税金を使って集められたり作られたりしています。だから情報は全部市民のもの。身の回りの事が知らないうちに決まったり、理由にもならない理由で決まったりしたら、納得できません。知つていれば意見も言えるし反対もできます。納得して結果を受け入れることもできます。

情報があれば、不正、間違いも市民が見つけられます。
行政も議会も、市民の目で厳しくチェック。

市民社会の基礎は憲法、教育基本法

市民生活の前提は戦争をしないこと。平和があって成り立つ市民社会、戦争ができる国にはしたくない。教育は國のためではなく、市民としての、一人ひとりの自立のために。

平和がイチバン、愛国教育はゴメンです。

議会報告「拡声器」
みんなに事実を知ってもらいたくて、
協力者の市民と一緒に続けたら……
165万枚！



私も応援しています。

赤松 年子（元保谷市議会議員） *敬称略
浅見 ひろ子（主婦）
内田 雅敏（弁護士）
川田 龍平（薬害エイズ裁判原告・松本大学講師）
重松 朋宏（国立市議会議員）
福士 敬子（東京都議会議員）
柳田 由紀子（「市民自治井戸端会議」代表）
山田 真（小児科医）
吉川 勇一（市民の意見30の会・東京）

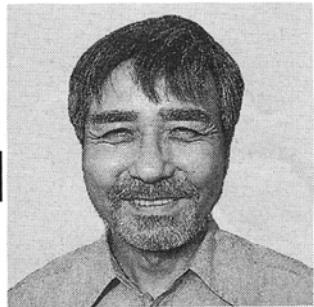
こんな
ことを：

プロフィール

*公害を撒き散らす36m道路建設に反対 *ごみの資源化処理を一貫して要求、提案
*子ども・高齢者・障害者などが生きやすい町を
*市はいのちの保障・最低限度の生活保障を *男女平等参画の社会を

■1947年長崎に生まれ大阪に育つ。1972年より西東京（旧保谷）市民。市民的権利の擁護と市民自治の実現に努力。一貫して市民運動、平和運動に関わる。■4人の子どもの育児と家事を連れ合いと分担。保育園、学童クラブ、学校PTAで委員、役員を歴任。■アジア人留学生の保証人も ■「議員インターシップ」で若者の政治参加を促進 ■1992～96年保谷市社会教育委員 ■1999年から市議会議員（2期8年）

ホームページ <http://www.moriteruo.com/>



森てるお
無所属
もり輝雄
五九歳